

水防災意識社会再構築協議会での取組(H28～R2)

○水防災意識社会再構築協議会におけるH28～R2までの取組を機関別に整理。
 ○ソフト対策については、5年間で完了を想定していた項目について概ね完了済み。

項目	事項	内容	課題の対応	実施する機関													
				大隅河川国道	時期	気象台	時期	鹿児島県	時期	鹿屋市	時期	肝付町	時期	東串良町	時期		
1) ハード対策の主な取組																	
■洪水を安全に流すためのハード対策																	
		流下能力対策(河道掘削等)	S	始良川の河道掘削 高山川・串良川の河道掘削	引続き実施					甫木川、塩入川の築堤及び河道掘削等	引続き実施						
		浸透対策(シラス堤防の質的強化)	T	肝属川、串良川、高山川の堤防質的強化(川裏側)	引続き実施												
■危機管理型ハード対策																	
		堤防川裏法尻の補強	S	串良川、高山川の川裏法尻補強	H28年度から実施												
■避難、水防、緊急排水等復旧に資する基盤等の整備																	
		地域住民の迅速な避難の目安となる川の警告灯の検討・設置	F	川の警告灯の検討・設置	引続き実施												
		急激な水位上昇を把握するため、上流部に設置する水位計の検討・設置	F	上流部に設置する水位計の検討・設置	H29年度から実施												
		きめ細やかな河川情報を提供するためリスクの高い箇所への河川カメラもしくは簡易水位計等の検討・設置	L	危機管理型水位計：H30完 簡易カメラ：R1完了	引続き実施					危機管理型水位計：R1完	引続き実施			簡易水位計の設置(塩入川柏原橋)	H30年度完了 ※県実施		
		適切な水防活動等を目的とした、堤防拡幅の検討・整備	U	大型車両の離合等水防活動をスムーズに行えるよう堤防天端の拡幅について検討・整備	引続き実施												
		緊急時に早急かつ的確な対応を行うため大規模災害を想定した排水ポンプ車の最適配置計画に基づく釜場の検討・設置	R	迅速にポンプ設置を可能とするためポンプ場の設置を検討・設置	H28年度から実施												
■施設の確実な機能確保																	
		洪水時に適切な施設運用が出来るよう、河川管理施設の定期的な状態監視及び老朽化対策の実施	V	監視結果による老朽箇所の対策を実施し河川管理施設の機能維持を図る	引続き実施												
		庁舎等の防災拠点施設の機能確保を図るための耐水化等の検討	Q	非常用電源等耐水化の必要性を検討	H29年度から実施									肝付町役場における庁舎の浸水対策検討	H29年度から実施		

※H28～R2までのとりまとめ及びR3以降の取組については、次回、協議会にて調整・検討予定。

水防災意識社会再構築協議会での取組(H28～R2)

項目	事項	内容	課題の対応	実施する機関											
				大隅河川国道		気象台		鹿児島県		鹿屋市		肝付町		東串良町	
				時期	時期	時期	時期	時期	時期	時期	時期	時期	時期		
2) ソフト対策の主な取組み ① 地域住民が的確に避難行動を行えるように、迅速かつ的確でわかりやすい情報発信に関する取組															
■ 防災情報の確実な伝達															
		避難情報等を確実に届けるため戸別端末による防災行政無線の普及	A							未設置者への防災行政無線の普及(90%)	引続き実施	アナログ無線からデジタル無線への更新(H30年度完了)	H28年度から実施	未設置者への防災行政無線の普及(80%)	引続き実施
		避難情報等を確実に届けるためコミュニティFMを活用したラジオ放送及びプッシュ型スマートフォン用アプリの整備、普及	A							スマートフォンアプリの普及FMかのかや放送を活用	引続き実施				
■ 適切なタイミングでの情報発信															
		確実な避難を促すための、避難勧告の発令に着目したタイムラインの検証・見直し	D	タイムラインの検証・見直し	H28年度から実施	タイムラインを支援する情報の提供 時系列で危険度を色分け表示、警報級の可能性の提供(H29.5.17～) 大雨警報(浸水害)・洪水警報の危険度分布の提供(H29.7.4～) 危険度分布にリスク情報を重ね合わせて表示(R01.12.24～)	H29年度から実施			タイムラインの検証・見直し	H28年度から実施	タイムラインの検証・見直し(引き続き実施)	H28年度から実施	タイムラインの検証・見直し	引続き実施
■ 視覚的にわかりやすい情報発信															
		洪水の緊迫感を伝えるため、民放放送局と河川カメラのライブ映像提供協定の締結	E	河川カメラのライブ映像提供	H28年度から実施										
		簡易水位計や河川カメラによるきめ細やかな河川情報の提供	F L	簡易水位計や河川カメラの設置	引続き実施			鹿児島県河川砂防情報システムによる情報提供	引続き実施					鹿児島県河川砂防情報システムによる情報提供	引続き実施
		地域住民の迅速な避難の目安となる川の警告灯の検討	F	川の警告灯の検討・設置	引続き実施										
■ 浸水区域等のリスク情報の周知															
		地域住民の確実な避難を行うために想定し得る最大規模の降雨を対象とした洪水浸水想定区域及び浸水シミュレーションの検討・公表	I	想定される最大規模の降雨を対象とした浸水想定区域及び浸水シミュレーションの検討・公表	H28年度に実施										
		地域住民の確実な避難を行うために、想定し得る最大規模の降雨を対象とした洪水ハザードマップの作成・周知	I	想定される最大規模の降雨を対象とした洪水ハザードマップの作成支援	H29年度から実施					R1年度防災マップ更新時にL2を反映	R1年度実施	想定される最大規模の降雨を対象とした洪水ハザードマップの作成・周知(引き続き実施)	作成完	想定される最大規模の降雨を対象とした洪水ハザードマップの作成・周知	作成完
		地域住民が安全に避難するために、浸水範囲内にある避難所及び避難経路の見直し検討	G H	浸水範囲内にある避難所及び避難経路の見直し検討支援	H29年度から実施					浸水範囲内にある避難所及び避難経路の見直し検討(引き続き実施)	R1年度実施	浸水範囲内にある避難所及び避難経路の見直し検討(引き続き実施)	H31年度から実施	浸水範囲内にある避難所及び避難経路の見直し検討	引続き実施

※H28～R2までのとりまとめ及びR3以降の取組については、次回、協議会にて調整・検討予定。

水防災意識社会再構築協議会での取組(H28~R2)

項目	事項	内容	課題の 対応	実施する機関													
				大隅河川国道	時期	気象台	時期	鹿児島県	時期	鹿屋市	時期	肝付町	時期	東串良町	時期		
2) ソフト対策の主な取り組み ② 地域住民の水防災に関する危機意識を再構築するための、水防災学習・教育や自主防災組織支援等に関する取組																	
■ 水防災を意識する社会の醸成のための支援																	
		河川協力団体と連携した住民目線での啓発活動の実施	A B D K	出前講座や河川協力団体と連携した水防災意識再構築のための啓発活動の実施 河川協力団体と連携した防災意識調査・分析	引続き 実施	水防災意識再構築のための啓発活動の実施	引続き 実施	水防災意識再構築のための啓発活動の実施	引続き 実施	水防災意識再構築のための啓発活動の実施	引続き 実施	水防災意識再構築のための啓発活動の実施(引き続き実施)	引続き 実施	水防災意識再構築のための啓発活動の実施	引続き 実施		
		教育機関等と連携した水防災学習・教育の実施	A B D K	教育関係機関と連携した水防災教育・学習の実施 防災教育教材の充実	H29年度 から実施	教育関係機関と連携した水防災教育・学習の支援	H29年度 から実施	教育関係機関と連携した水防災教育・学習の支援 (H30.11.29 県教育委員会を通じて市町教育委員会へ指導計画(例)等を情報提供)	H29年度 から実施	R1年度も、H30年度に引き続き 寿小学校で防災DAYキャンプを 実施。	H29年度 から実施	教育関係機関と連携した水防災教育・学習の支援(引き続き実施)	H29年度 から実施	教育関係機関と連携した水防災教育・学習の支援 H30 津波シンポジウム	引続き 実施		
		地域住民が安全に避難出来るよう、マイハザードマップ検討・作成の支援	G H	マイハザードマップ検討・作成支援	引続き 実施							マイハザードマップの検討・作成 ・作成促進のため助成金制度を導入	引続き 実施		マイハザードマップの検討・作成 ・H30防災マップを配布(町全域対象)	平成30年度3月策定済み	
		地域住民が安全に避難出来るよう、地区防災計画の推進・支援	G H	地区防災計画の推進・支援	引続き 実施									地区防災計画の推進(引き続き実施)	引続き 実施		
		水防災をテーマとしたパネル展示等の啓発活動の実施	K	防災をテーマにしたパネルの作成及び展示	引続き 実施	防災をテーマにしたパネルの展示	引続き 実施	防災をテーマにしたパネルの展示	引続き 実施	防災をテーマにしたパネルの展示 (高隈交流促進センターには常設)	引続き 実施	防災をテーマにしたパネルの展示(引き続き実施)	引続き 実施	防災をテーマにしたパネルの展示 H30柏原防災センター	引続き 実施		
		浸水実績をわかりやすく周知するために過去の洪水による浸水深を地域に表示する「まるごとまちごとハザードマップ」の実施・支援	K	「まるごとまちごとハザードマップ」作成に向けた支援	H29年度 から実施							「まるごとまちごとハザードマップ」の検討・作成	H29年度 から実施	「まるごとまちごとハザードマップ」の検討・作成(引き続き実施)	H29年度 から実施	「まるごとまちごとハザードマップ」の検討・作成	H29年度 から実施
■ 自主防災組織等への支援																	
		自主防災組織支援、水防災教育等の講師・アドバイザー育成のための講習会等の実施	C J	自主防災組織支援、水防災教育等の講師・アドバイザー育成のための講習会等の実施	引続き 実施							自主防災組織支援、水防災教育等の講師・アドバイザー育成のための講習会等の実施	引続き 実施	自主防災組織支援、水防災教育等の講師・アドバイザー育成のための講習会等の実施	引続き 実施	自主防災組織支援、水防災教育等の講師・アドバイザー育成のための講習会等の実施	引続き 実施
		災害時に迅速な避難が出来るよう、地域の防災リーダー育成や自主防災組織の育成・強化・支援	J	出前講座による防災教育の実施	引続き 実施	出前講座による防災教育や防災担当者に対する研修の実施	引続き 実施	出前講座による防災教育や防災担当者に対する研修の実施	引続き 実施	地域の防災リーダー育成のために研修等への参加 未組織の地区について自主防災組織の推進	引続き 実施	地域の防災リーダー育成のために研修等への参加 未組織の地区について自主防災組織の推進	引続き 実施	地域の防災リーダー育成のために研修等への参加 未組織の地区について自主防災組織の推進	引続き 実施	地域の防災リーダー育成のために研修等への参加 未組織の地区について自主防災組織の推進	引続き 実施

※H28~R2までのとりまとめ及びR3以降の取組については、次回、協議会にて調整・検討予定。

水防災意識社会再構築協議会での取組(H28～R2)

項目	事項	内容	課題の対応	実施する機関													
				大隅河川国道	時期	気象台	時期	鹿児島県	時期	鹿屋市	時期	肝付町	時期	東串良町	時期		
2) ソフト対策の主な取り組み ③ 地域住民が安心して暮らせるよう、ハード対策や確実な水防活動が行える訓練等のソフト対策に関する取組																	
■ 関係機関及び地域住民と実施する訓練等																	
		防災担当職員の防災技術力向上と流域内の関係機関の連携強化を目的とした防災訓練や勉強会の実施	C	防災担当者を一堂に会した防災訓練や講習会の実施	H28年度から実施	防災担当者を一堂に会した防災訓練や講習会の実施	H28年度から実施	防災担当者を一堂に会した防災訓練や講習会の実施	H28年度から実施	防災担当者を一堂に会した防災訓練や講習会の実施	H28年度から実施	防災担当者を一堂に会した防災訓練や講習会の実施(引き続き実施)	H28年度から実施	防災担当者を一堂に会した防災訓練や講習会の実施(H30 柏原地区(津波訓練) R1 豊栄地区)	H28年度から実施		
		水防技術伝承のための水防団(消防団)員の防災訓練等の実施	N	水防団(消防団)員の技術伝承のための、防災訓練の実施	引き続き実施							水防団(消防団)員の技術伝承のための、防災訓練の実施	引き続き実施	水防団(消防団)員の技術伝承のための、防災訓練の実施(引き続き実施)	引き続き実施	水防団(消防団)員の技術伝承のための、防災訓練の実施	引き続き実施
		災害時に迅速な避難誘導が出来るよう、関係機関と自主防災組織等が連携した要配慮者等の避難訓練の実施	O	自主防災組織等と連携した要配慮者等の避難訓練への支援	引き続き実施							自主防災組織等と連携した要配慮者等の避難訓練の実施	引き続き実施	自主防災組織等と連携した要配慮者等の避難訓練の実施(引き続き実施)	引き続き実施	自主防災組織等と連携した要配慮者等の避難訓練の実施	引き続き実施
		浸水想定区域内にある病院や地元企業に対して、被害が最小となるための自主防災力向上のための支援	Q	浸水想定区域内にある病院や地元企業のBCP作成や訓練実施の支援	H29年度から実施							浸水想定区域内にある病院等の要配慮者利用施設の避難確保計画の作成を支援	H29年度から実施	浸水想定区域内にある病院や地元企業と連携した訓練の実施(引き続き実施)	H29年度から実施	浸水想定区域内にある病院や地元企業と連携した訓練の実施	H29年度から実施
■ 確実な水防活動への支援																	
		適切な水防団(消防団)人員の確保	N									市広報誌を活用した水防団(消防団)人員の募集	引き続き実施	町報を活用した水防団(消防団)人員の募集(引き続き実施)	H29年度から実施	町報を活用した水防団(消防団)人員の募集	引き続き実施
		水防協力協定等企業(地元建設業等)と連携した水防活動の実施	N									水防協力協定の実施・総合防災訓練(隔年実施)	引き続き実施	水防協力協定の実施(引き続き実施)	引き続き実施	水防協力協定の実施	引き続き実施
		適切な水防活動を行うための、保有水防資機材の定期的な点検確認と情報共有	P	合同巡視等で必要な水防資機材の確認、補充及び関係機関間の情報共有	引き続き実施				合同巡視等で必要な水防資機材の確認、補充及び関係機関間の情報共有	引き続き実施		合同巡視等で必要な水防資機材の確認、補充及び関係機関間の情報共有	引き続き実施	合同巡視等で必要な水防資機材の確認、補充及び関係機関間の情報共有(引き続き実施)	引き続き実施	合同巡視等で必要な水防資機材の確認、補充及び関係機関間の情報共有	引き続き実施
		堤防の変状等河川巡視結果をリアルタイムで共有するためのシステム検討	M	相互接続した専用光ケーブルを利用し、大隅河川国道と3市町でリアルタイムの情報共有	引き続き実施							相互接続した専用光ケーブルを利用し、大隅河川国道と鹿屋市でリアルタイムの情報共有	引き続き実施	相互接続した専用光ケーブルを利用し、大隅河川国道と肝付町でリアルタイムの情報共有(引き続き実施)	引き続き実施	相互接続した専用光ケーブルを利用し、大隅河川国道と東串良町でリアルタイムの情報共有	引き続き実施
		大規模浸水被害発生時に水防活動等の拠点となる施設の検討	P	大規模浸水被害発生時に水防活動等の拠点となる施設の検討(既存施設含む)	H29年度から実施							大規模浸水被害発生時に水防活動等の拠点となる施設の検討	H29年度から実施	大規模浸水被害発生時に水防活動等の拠点となる施設の検討(引き続き実施)	H29年度から実施	大規模浸水被害発生時に水防活動等の拠点となる施設の検討	H29年度から実施
■ 大規模災害時における排水施設の適切な運用																	
		緊急時に早急かつ的確な対応を行うため大規模災害を想定した排水ポンプ車の最適配置計画の検討	R	大規模災害を想定した排水ポンプ車の最適配置計画及び釜場の検討・設置	H28年度から実施							大規模災害を想定した排水ポンプ車の最適配置計画の検討	H28年度から実施	大規模災害を想定した排水ポンプ車の最適配置計画の検討(引き続き実施)	H28年度から実施	大規模災害を想定した排水ポンプ車の最適配置計画の検討	H28年度から実施

※H28～R2までのとりまとめ及びR3以降の取組については、次回、協議会にて調整・検討予定。